

その他の小売業における崩壊・倒壊災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	8～9	地下青果売場で、キャリアに載せていた商品をスイングドアから中の鮮生庫にしま う際、段差にぶつかり商品が倒れ、左足の脛にぶつかった。	33	100 ～ 299
1	9～ 10	店舗駐車場にて、空のカゴ車を移動させていた時、誤ってカゴ車を倒してしまい、 左足の親指を負傷した。	64	10 ～ 29
1	18～ 19	夕食配膳後、厨房内清掃のため、洗米機付近の排水溝の数枚のピット蓋を外してい た所、足が溝に誤って落ち、横に立てかけていたピット蓋で左足・胸部辺りを強打 し負傷した。痛みを伴いながらも業務を続けたが、左足・胸部辺りを3本骨折して おり、全治1ヶ月と診断される。	76	10 ～ 29
2	8～9	店舗バックヤードののぼり旗置場にて、開店準備でのぼり旗を運び出すためののぼ り旗10本を持ち上げた際、取り出したいのぼり旗の横棒が他ののぼり旗に絡まっ ていたのをそれを直そうと持ち上げた10本の登り旗を向かって左側の壁に立て掛 け、絡みを直そうと上向きで作業をしていたところ、立て掛けていたのぼり旗10 本が倒れてきて顔面と左上半身にあたり負傷した。	32	50 ～ 99
3	9～10	店内で商品を陳列中、積んでいた商品保管用のケースがバランスを崩し倒れ、背中 や腰に当たり負傷した。	37	10 ～ 29
3	16～17	地下菓子売り場で品出し作業中に、品出ししている商品とは別の下から2番目の商 品が落ちそうになりあわてて押さえた時、低い棚だったので左手をついて右手で商	52	50 ～

		品を押さえた時に、左手に体重がかかり骨折した。		99
3	16~17	当社併設のハム加工作業場の屋外の通路で、ポークソーセージが乗っているスモーク台車を移動させようとした時、台車の片側にスモークソーセージが偏って乗っていたため車輪が溝に引っ掛かった。これを外そうと手前に引っ張ったところ、その反動で自分側に傾いてきてそのまま転倒し、後頭部を負傷した。	41	50 ～ 99
3	12~13	バックヤードで、台車片づけのため台車を壁に立て掛けて後ろを向いた瞬間、立てかけた台車が倒れて、左のふくらはぎに接触し、切り傷を負ってしまった。	50	10 ～ 29
3	14~15	お客様宅の不要家具を運搬中、ロープが緩み軽四トラックに積んだタンスが荷崩れし、ロープをかけ直そうとした所、タンスが倒れてきて左手親指に当たり負傷した。	54	1～ 9
4	13～ 14	店長の2人で廃棄物をトラックに積み込む作業を行っていた。1800ケーキショーケースを積み込む際、パワーリフターで片側をトラックに載せ押し込んだが、バランスを崩してショーケースが倒れた。倒れたショーケースが足の上に落ち、左足小指骨折を負った。	50	10 ～ 29
4	15～ 16	倉庫内にてトラックへ塩ビパイプを積み込む際、パイプを持ち上げた振動で仮置きしていた他のパイプが背後から倒れた。パイプは首後ろに当たり、痛みが出た部分をすぐにアイシングと湿布をした。翌日は痛みを感じながらも通常業務を行ったが、痛みが酷くなった。	20	10 ～ 29
4	10～ 11	店舗内食品バックヤードに於いて、荷物を積載しているカゴ台車を移動していた際に、地面に接地していたトラックのリフトにカゴ台車が引っ掛かり転倒し、左足が巻き込まれた。	18	30 ～ 49
5	20～ 21	調理場のシンクで洗い物をしていた時、上部棚にあったまな板4枚が倒れ、シンクのふちに左手の中指がまな板と挟まれた。	68	10 ～ 29
5	21～ 22	店内7F売り場にて商品什器（平台）を移動中、重ねて運んでいた平台が崩れ、上下の棚板に右手親指を挟んだ。	51	50 ～

				99
5	9～ 10	店敷地内にある危険物保管庫前において作業中、カゴ車に載せて運搬中、カゴ車が通路から外れバランスを崩し転倒してしまった。その際、倒れたカゴ車が左肘と左膝にぶつかり負傷した。	65	100 ～ 299
5	11～ 12	商品搬入口において、資源回収した食品トレイをまとめて載せるため、畳んであったカゴ台車を開こうとしたところ、バランスを崩した台車が自分の方に倒れてきたので押し返したが、台車の下部が左足甲に当たり、出血を伴う負傷となった。	62	30 ～ 49
5	9～ 10	雑貨倉庫にて一人で品出しの商品を出す時に、ロング脚立が後ろから倒れてきた。	58	100 ～ 299
5	21～ 22	バックヤードの米をカット台に載せ、売場下段の米を補充していた際にカット台の米が崩れてきて、崩れた米を手で押さえた際に手首を痛めてしまった。	19	100 ～ 299
6	10～ 11	資材館にてラクサーを引いて移動中、カゴ車にラクサーが引っ掛かりカゴ車が転倒し、頭部と左膝を打ち負傷した。	33	30 ～ 49
6	15～ 16	当社倉庫内において、横倒しになっているフレコン（トランスバック直径1.5m×高さ1.5m、重さ1t飼料米入）をフォークリフトで起こし立て掛ける作業中、隣に積んであった三段積（高さ3.5m）のフレコンを支えてあるパレットがずれて、最上段のフレコンが崩れ落ち、横倒しになっているフレコンの近くで屈んで、こぼれ落ちている玄米を拾い集めていた被災者の背後から当たり、前倒しになって地面に顔面・首を打ち負傷した。	59	1～ 9
6	13～ 14	店舗内バックルームにて備品の整理中、身長より低いガラス棚を持ち上げようとしたところ、棚板が外れてしまい、20枚ほど重なっていた棚板が足の上に落ちてきた。すぐに病院に行き、左足親指・人差し指・中指の粉碎骨折との診断を受けた。	35	10 ～ 29
	15～	ベーカリー作業場にて厨房の清掃作業中、棚を前方に引っ張った際に、棚と棚の間		100

6	16	に立て掛けていたまな板（2m×1m）と棚が前方に倒れ、左腕左手中指先端にぶつかり負傷する。	64	～ 299
6	1～2	加食住居バックルームでカートラックの運搬時、立て掛けてあったスチール製平台に接触し、平台が倒れて左足甲に接触し、左足甲が腫れ、骨にひびが入る。	57	100 ～ 299
6	10～ 11	アルミ板をトラックに積み込み作業中、荷台に立て掛けていたアルミ板が倒れ、左手甲に当たり損傷した。	63	10 ～ 29
6	11～ 12	クッションフロア等床材を梱包する出荷場で、別の商品のチェックをしている時に、台車に乗せてあった重さ30kg程のクッションフロアが、安全バーが外れていたため、スタッフの右半身に倒れてきた。	39	50 ～ 99
6	9～ 10	営業所内において、自社荷物の積み下ろし作業中、荷物（1980mm×900mm×100mm、360kg）を載せたパレットをフォークリフトで運ぶ途中、路上の段差を通過した際、荷物がバランスを崩したため、急いでフォークリフトを降車して荷物を支えようとしたが、支えきれずに荷物が転倒した。その際、逃げきれずに残した左足を挟み、負傷したものである。	26	10 ～ 29
7	20～21	商品の搬入作業中、飲料約250kgを積んだカゴテナーを2人で運んでいた際、店舗出入り口の上り坂のスロープを後ろ向きで引きながら上ろうとした時、スロープ縁の段差に車輪が引っかかって倒れてきたカゴテナーに左脚が下敷きになり、左膝に切創を負い、左腿筋肉が断裂した。	25	30 ～ 49
7	12～13	1階食品レジにて、精算業務中、隣のレジで精算していたお客様の子供がついたてを倒す。左手で押さえようとして、体を捻ったとき左側腰から背中を痛める。	36	100 ～ 299
7	12～ 13	荷受場で商品の入ったオリコンを移動したときに、壁面に立てて置いたバックルーム用ラックの棚板が倒れてきて、左腕と左胸にぶつかった。その時に倒れてきた棚板を支えようとした際、腰と左腕を痛めた。	48	30 ～ 49
	10～	使用済みの棚板をカゴ台車に2段積みで立てかけて積んでいたところ、下段の棚板		100

7	11	が斜めになっていたので積み直そうとして、上段の棚板を取り除いているときに棚板が倒れてきて、左手に当たった。	26	～ 299
7	9～ 10	店舗にて、保冷剤運搬用の空のカゴ車を牽引中、車輪のバランスが崩れ、手前（体の方）にカゴ車が倒れてきた。その際、右足の指の上にカゴ車の一部が乗り、右足親指を骨折した。	40	30 ～ 49
7	16～ 17	施設内（厨房外）のグリストラップを掃除中、立て掛けていた鉄製の蓋が倒れ、指が挟まり骨折した。	32	1～ 9
9	10～ 11	店舗倉庫にて、品出し作業で積んであったミニカート（70*40*14cm重4kg）を使用しようと上の段のミニカートを取ろうとした際、積んであったミニカートが不安定だった為、上から右足に落下した。	56	10 ～ 29
9	18～ 19	1階売場にて、稼動中のレジの未精算用のレジカゴが170cm位までたまった状態だったので、レジカゴ置き場まで移動させようとカゴ台車を押していた時、突然台車のコマが動かなくなり、その反動でバランスを崩してカゴが倒れそうになった、とっさに両手でカゴを支えたところ、腰に痛みが走り、結局支えきれず上からカゴが崩れ落ち、それを避けようとして転倒し足を強打した。	50	50 ～ 99
10	9～ 10	駐車場にて従業員（被災した者ではない）がフォークリフトで合板を2山重ねて運んでいた。地面が平らでなく不安定なため、1山にしようとして一旦停止したが、フォークリフトの爪を前に出さず、そのままの状態ですべて下げてしまったために、車輪のアームに当たり、合板が隣に駐車していた車の屋根に崩れ落ちた。被災労働者を含め、複数名で合板が山を片付けていたが、板を取り除いた際に合板の山が崩れてしまい、後ろ向きで片付け作業を行っていた被災労働者を落下した。振り返ったが、避けきれず、合板に右足が挟まれ怪我をしてしまった。	29	100 ～ 299
10	11～ 12	商品がかかっているシングルラック（横1m、高さ150cm、重さ10kg程度）を移動していたところ、下り坂になっていたためラックが傾いてしまい、それを支えようとしたところ、ラックと一緒に自分も転倒し、その際にラックの金属部分が左膝にあたっ、て、負傷。	31	10 ～ 29
10	16～	店内雑貨売場にて、棚の上段にレシピを置こうとして脚立に登ったところ、脚立の脚の止め具がきちんと止まっていなかったため、上から2段めまで登った際に脚立	29	1～

	17	が崩れ、地面に足から落下した。		9
11	13～ 14	構内にて断裁作業を行っていたところ、誤って断裁機に左手の親指の先を挟んでしまった。	35	50 ～ 99
12	11～12	外売場でパレットを動かそうとしたが、雪でパレットの車輪がつまり、反動でパレットに積まれていたトイレトペーパーのダンボールが荷崩れを起こし、首と肩に落下した。すぐ病院へ行き、治療してもらった。MRI等の検査をしたが、異状なしとのことであった。	33	50 ～ 99
12	9～10	バックの冷蔵庫から、売場に台車に載った番重（惣菜入り）を運んだ。2個の連結台車のうち1個がレジ前近くで外れてしまったようだが、それに気付かなかった。手を離れたところ番重のバランスが崩れ、とっさに支えようとして番重が足に当たり、左膝の靱帯を損傷した。	60	10 ～ 29
12	8～9	空の牛乳ケースを載せたカゴ車を片付けようと空台車置場に移動させていた。横に押した際、車輪が動かず載せていた牛乳ケースが倒れ、玉子台車にあたった。そのとき、自分に向かって倒れてきたが、避けきれず左足甲にあたり打撲した。	65	100 ～ 299
12	20～21	事業所内洗浄コーナーで洗浄後のトレーをかごに立てて入れ、食器乾燥機の奥にいれようとした際、トレーが倒れてかごとトレーの間に右手の薬指の第一関節が挟まってしまった。	63	10 ～ 29
12	15～16	ORタイヤの空気充填中、リングがしっかり入っておらず、そのとき風圧で近くにあった大型トラックのタイヤが吹き飛ばされて、大型トラックのタイヤの下敷きになり、仰向きに倒れて頭を打ちつけた。	49	10 ～ 29
12	9～10	ライスセンター倉庫内にて、米の積み込み作業中、リフトでパレット積みされた米のうち、2段重ねの上段を取ろうとしたところ、上段の米が片方に崩れそうになったため、リフトを降りて手で直そうとしたとき、上段のパレット積みの米が落下し、米の下敷きになった。	33	10 ～ 29
12	16～17	在庫用資材の荷受けと立ち会いのために行った当社倉庫にて、協力会社従業員が、フォークリフトで資材（鉄製棒、約6m×14kg）をトラックから降ろす作業を行っ	27	10 ～

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html